

## 平成26年8月台風11号における 渡川水系の出水状況について

- 台風11号の豪雨により、8月8日～10日までに船戸観測所（高岡郡津野町舟戸）で累計900mmを越える降雨を観測しました。
- 四万十川では戦後第3位の水位、後川では戦後第9位の水位、中筋川では戦後第5位の水位を記録しました。

### <要旨>

#### ○施工中の不破堤防により洪水被害を防止

洪水から浸水家屋数17戸、浸水面積約12haの被害を防止。（数値推定）

#### ○中筋川ダム等により堤防の決壊を回避

中筋川の磯ノ川地点で水位を約66cm低下させ、堤防の決壊を未然に防止。  
横瀬川ダムがあった場合はさらに約40cmの水位低減効果が期待。

#### ○浸水被害軽減に向けて排水ポンプ車総出動

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成26年8月11日  
国土交通省 四国地方整備局  
中村河川国道事務所  
中筋川総合開発工事事務所

#### （不破堤防・排水ポンプ車出動に関する問い合わせ）

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所  
電話（0880）34-7301

◎副所長 福島 奨 内線（204）  
計画課長 高橋 弘 内線（261）

#### （中筋川ダムに関する問い合わせ）

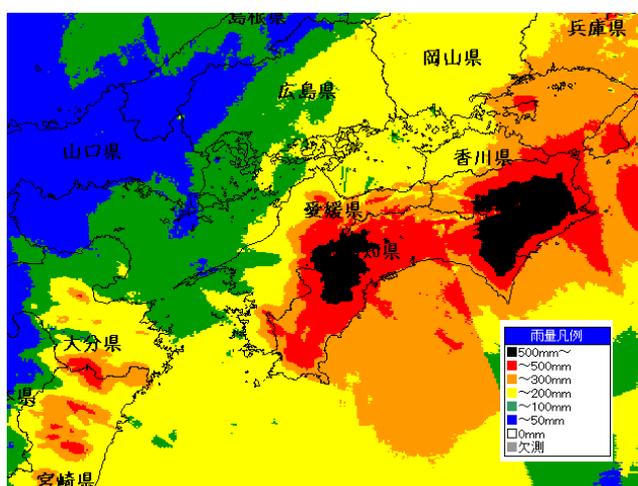
国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所  
電話（0880）66-0142

副所長 渡邊 健二 内線（204）  
管理課長 山下 正浩 内線（6121）  
◎調査設計課長 増田 稔 内線（351）

◎主な問い合わせ先

## 平成26年8月 台風11号による出水状況

- 平成26年8月8日～10日にかけて、台風11号の影響による大雨により、四万十川、後川、中筋川では水位が上昇し、
- ・四万十川は、はん濫危険水位を94cm超える9.09m
  - ・後川は、避難判断水位を37cm超える6.47m
  - ・中筋川は、避難判断水位を72cm超える8.12m(計画高水位8.367mまで約25cmと迫る)
- を記録する出水となった。【平成26年8月11日0時時点】



■ 累加レーダー雨量(国土交通省)  
8月8日1時～8月10日12時

洪水ピーク時の状況(四万十川橋)



洪水前後の水位の変化(中筋川磯ノ川地点)



8月7日15時時点



8月9日23時時点

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 平成26年台風11号による出水状況 (渡川水系四万十川、後川、中筋川)

## ○中村河川国道事務所の体制

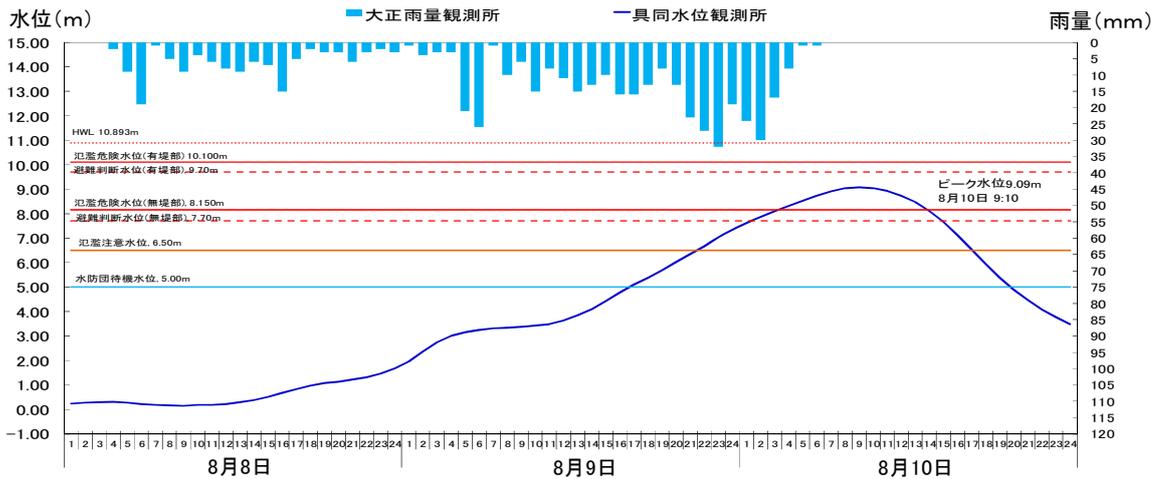
8月8日(金) 11時30分 注意体制

8月9日(土) 9時00分 警戒体制

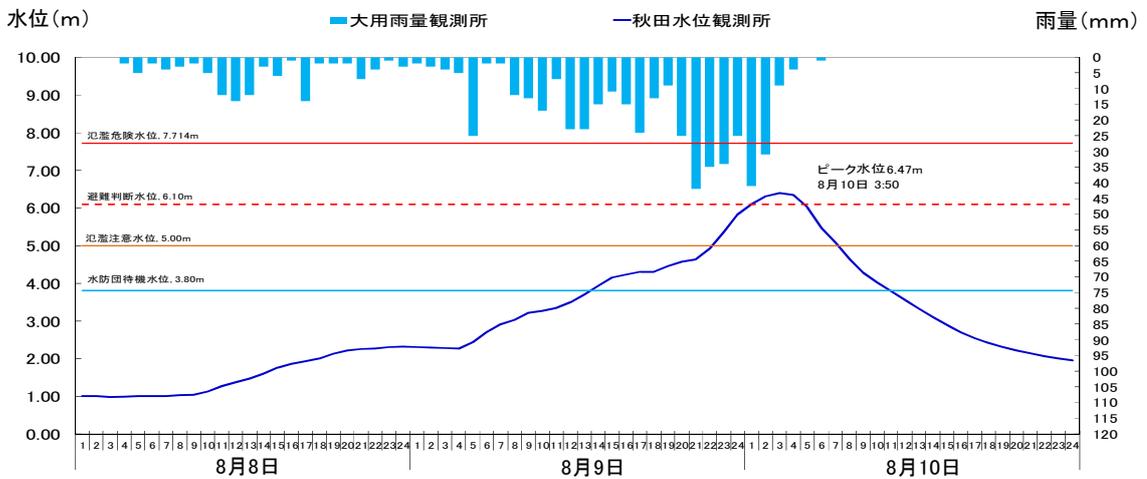
8月9日(土) 23時00分 非常体制

## ○各河川の水位状況

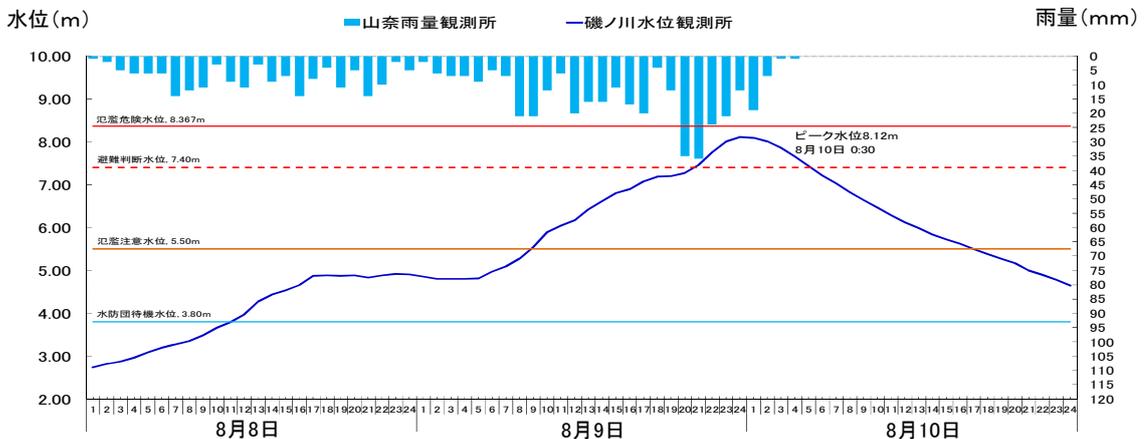
### 四万十川



### 後川



### 中筋川

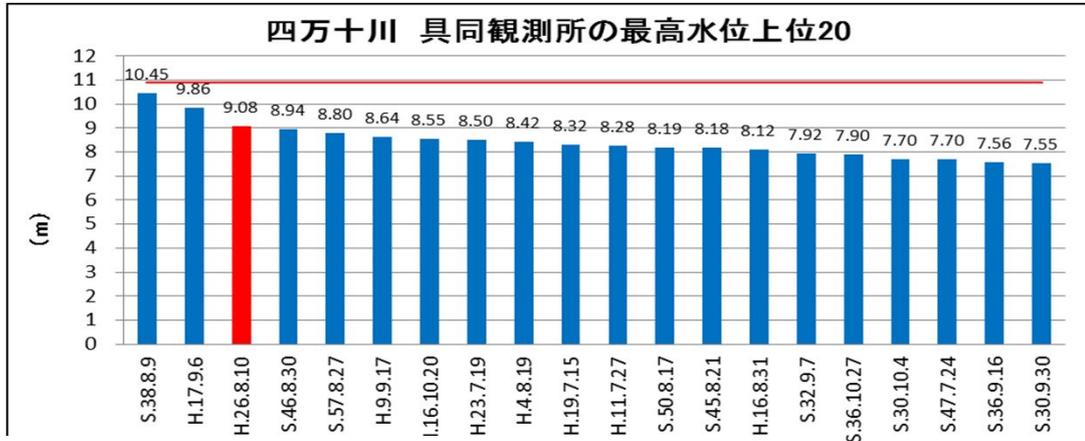


※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

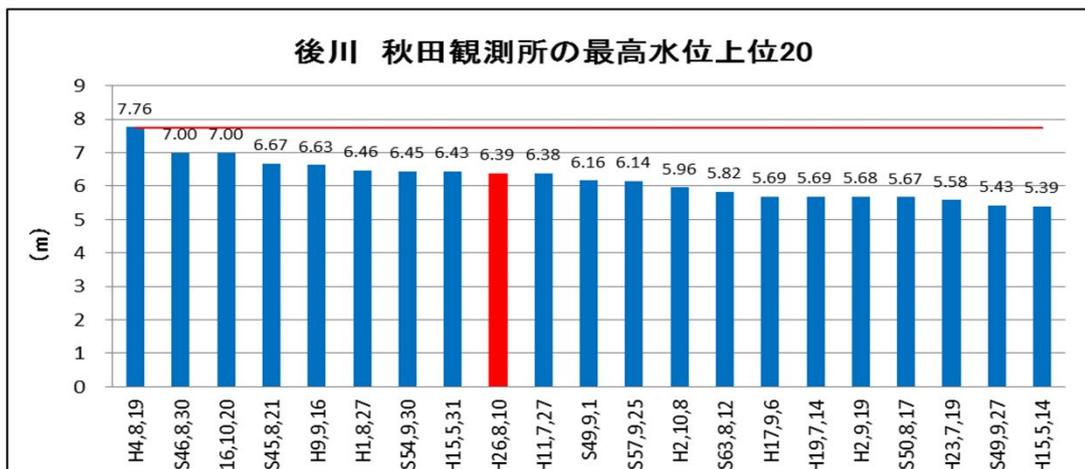
# 平成26年8月 台風11号による出水状況

## ○今回の出水は？

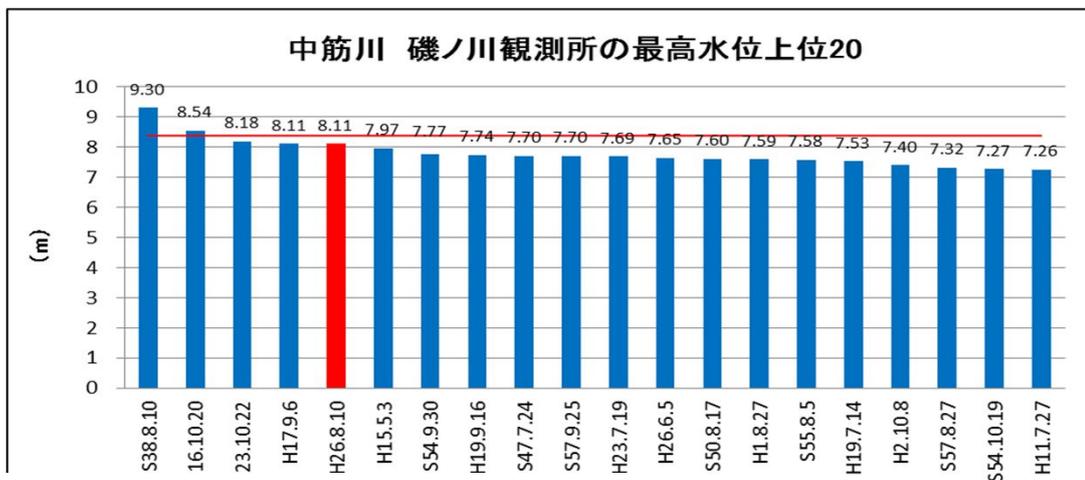
(戦後の既往洪水を毎正時水位で比較)



→ 四万十川では戦後3番目に高い水位



→ 後川では戦後9番目に高い水位



→ 中筋川では戦後5番目に高い水位

※中筋川ダムは平成11年(1999)4月より運用を開始  
 ※S38.8.10の水位は確認できた最高水位。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

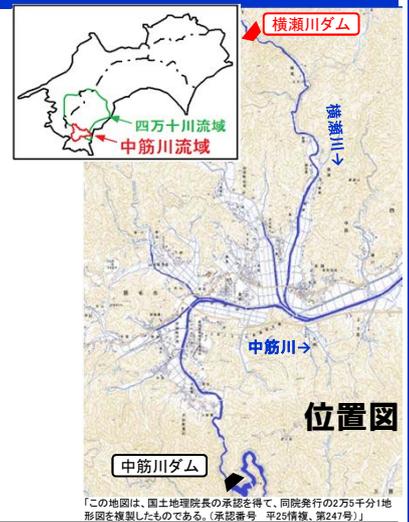
# 平成26年8月 台風11号による出水状況 ～中筋川ダムにより堤防の決壊を回避～

## 3日間で8月平均の1.5倍の雨

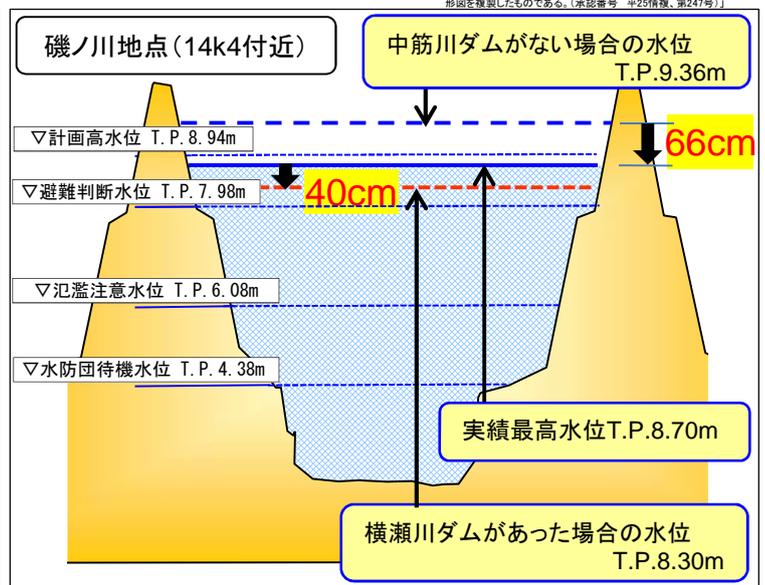
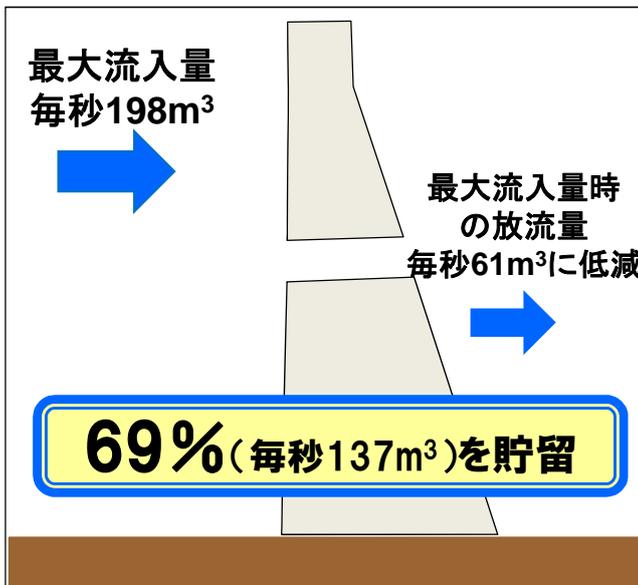
中筋川ダム上流域において、8月7日12時～8月10日1時にかけて累計613mm(時間最大36.6mm)の降雨となりました。これは、**8月の平均雨量(422mm)の約1.5倍**に相当します。

## 中筋川ダムにより69%を貯留

中筋川ダムへの最大流入量毎秒198m<sup>3</sup>の69%を貯留し、ダムからの放流量を毎秒61m<sup>3</sup>に低減しました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平25情機、第247号)



中筋川ダムの防災操作状況 (8月9日23時)

磯ノ川地点での水位状況 (8月10日1時)

## 中筋川ダムにより堤防の決壊を回避

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点では約66cm水位低下させ**、中筋川ダムが無かった場合は計画高水位 (8.37m) を越える8.78mであったと推測され、**堤防の決壊を未然に防ぎました。**

## 横瀬川ダムにより更に40cm低下

横瀬川ダムがあった場合はさらに**約40cmの水位低減効果**が期待でき、**中筋川ダムとあわせて水位を1m以上低下**させることができたと推測されます。



磯ノ川地点 (8月10日6時撮影)

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 平成26年8月 台風11号による出水状況 ～不破堤防事業が効果を発揮～

## 施工中の不破堤防が洪水被害を防止

○無堤地区である不破地区(左岸6k/2～9k/0付近)は、近年においても洪水による浸水被害が頻発しています。  
**現在施工中の堤防が洪水による浸水を防止しました。**

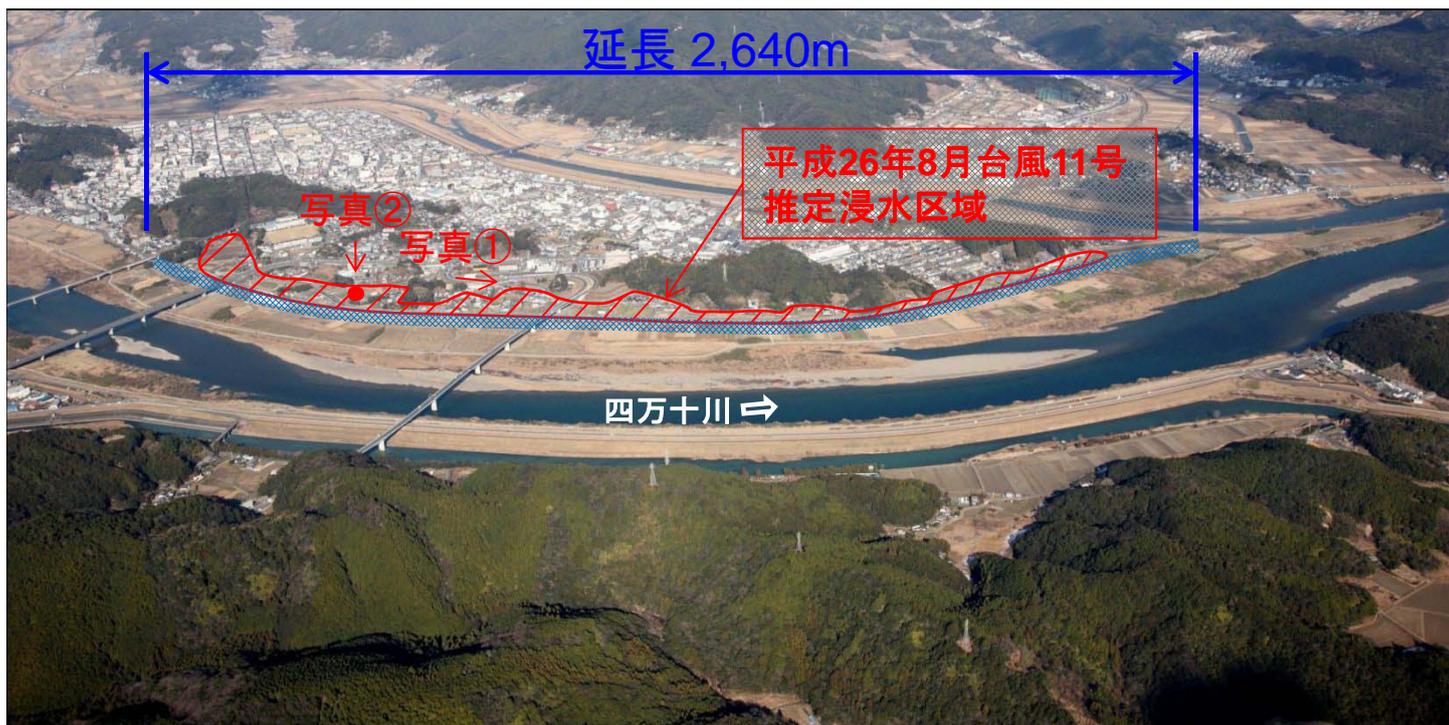
洪水ピーク時の状況(不破地区)



浸水位(戦後第1位、第2位との比較)



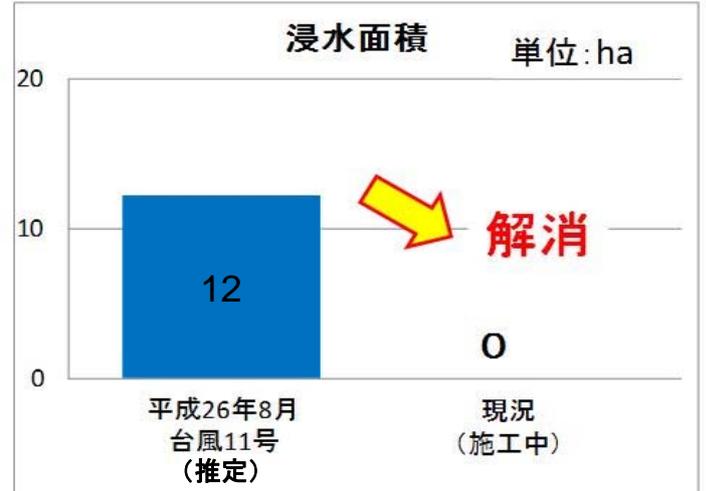
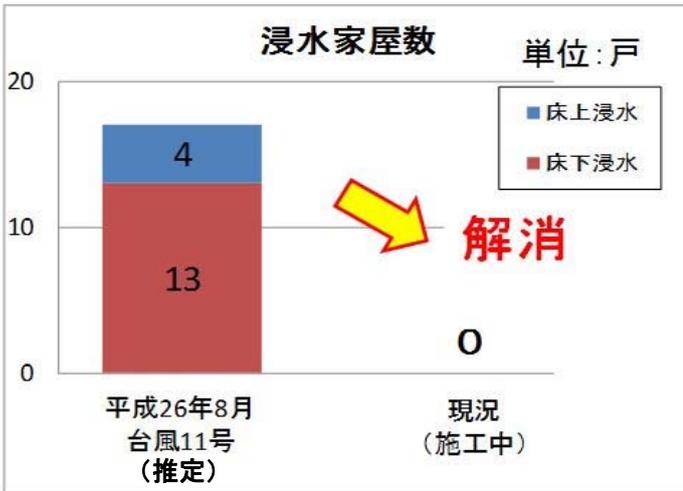
○平成19年より築堤事業に着手、平成26年度完成予定。  
 資産の集中する四万十市街地を背後地とする直轄管理区間の  
 中流部において、堤防による締切が完了します。



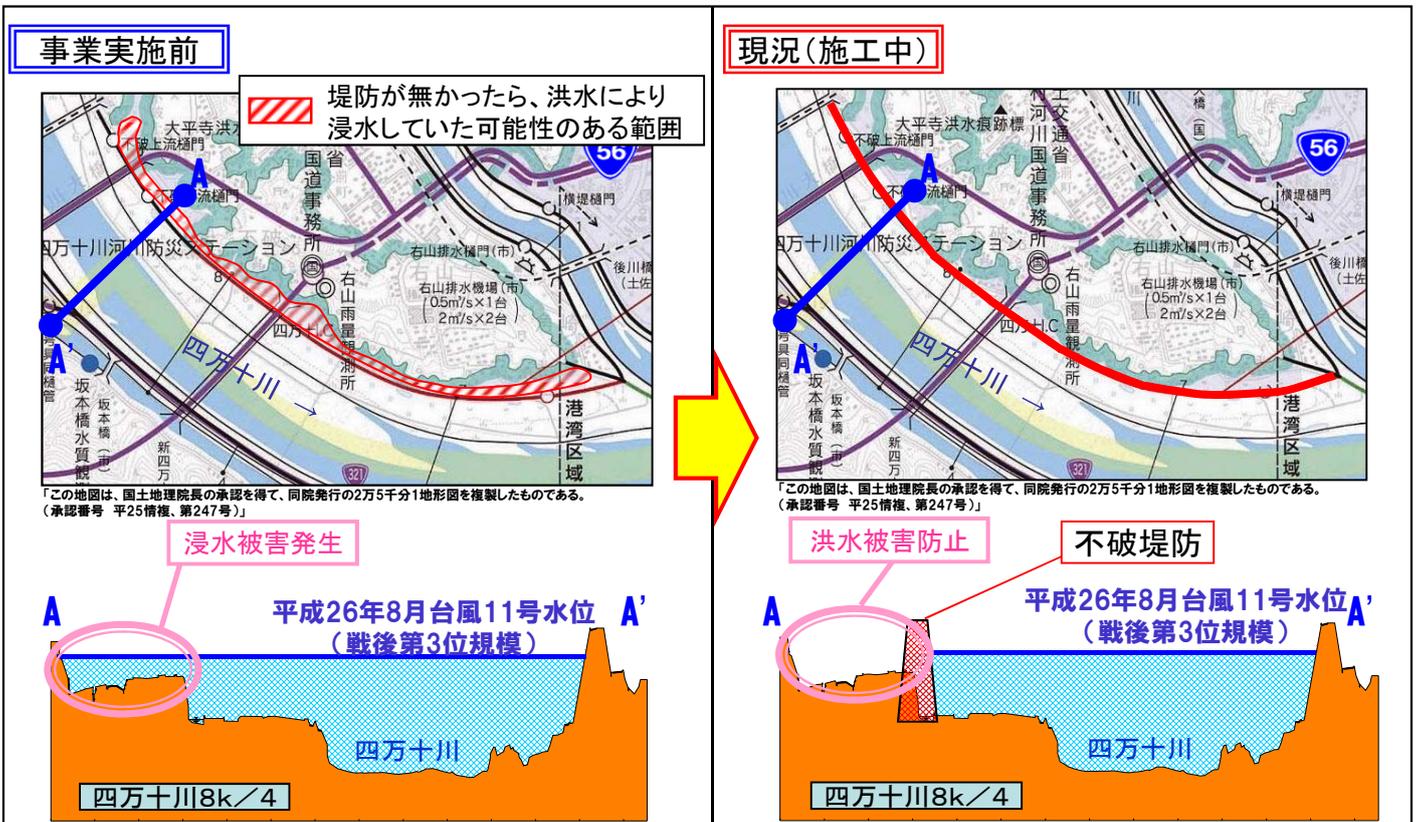
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 平成26年8月 台風11号による出水状況 ～堤防事業の効果～

○戦後第3位規模の平成26年8月台風11号洪水により発生したと推定される**浸水家屋数17戸**(床上4戸、床下13戸)、**浸水面積約12ha**の**甚大な被害を、堤防整備により防止**することができました。



※内水被害を除く。



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 平成26年8月 台風11号による出水状況

～家屋・土地・道路の浸水被害軽減に向け排水ポンプ車 総出動～

○今回の出水が中筋川の有岡排水機場や後川の古津賀排水機場などのポンプ運転に加え、**排水ポンプ車5台を総出動し、内水の排水作業を行い、家屋や土地、国道56号等の道路の浸水被害の軽減を図りました。**

【排水ポンプ車の稼働状況】 (8月11日8:30時点)

河川名	場所	規模(排水量)	稼働時間		
中筋川	清水樋門	60m <sup>3</sup> /分	8月9日	19:30	～ 18:00
中筋川	榎沢樋門	30m <sup>3</sup> /分	8月9日	16:40	～ 17:45
後川	横堤樋門	30m <sup>3</sup> /分	8月9日	16:05	～ 18:30
後川	横堤樋門	30m <sup>3</sup> /分	8月9日	20:50	～ 18:30
四万十川	不破下流樋門	30m <sup>3</sup> /分	8月10日	5:00	～ 15:30

【排水機場の稼働状況】

河川名	排水機場名	規模(排水量)	稼働時間		
中筋川	有岡排水機場	4m <sup>3</sup> /秒×2	8月8日	9:13	～ 稼働中
後川	古津賀排水機場	5m <sup>3</sup> /秒×2	8月9日	3:34	～ 23:36
後川	八宗田排水機場	5m <sup>3</sup> /秒×2	8月9日	6:22	～ 18:12
後川	川家川排水機場	5m <sup>3</sup> /秒×2	8月9日	6:58	～ 18:38
後川	藤排水機場	3m <sup>3</sup> /秒×2	8月9日	9:00	～ 11:48

## ○排水ポンプ車の運転状況



横堤樋門



榎沢樋門



清水樋門



横堤樋門



不破下流樋門



清水樋門

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。